

秋季特別展

安曇野の屋根を彩った

いぶし銀の造形

瓦の美と技と心

10月24日(土) - 11月29日(日)



■主催 安曇野市豊科郷土博物館 ■後援 長野県中信瓦事業組合

安曇野市豊科郷土博物館 <http://toyohaku.jugem.jp/>

長野県安曇野市豊科4289-8 〒399-8205 tel/fax 0263-72-5672

●JR大系線豊科駅から徒歩15分 ●JR篠ノ井線田沢駅から車で10分 ●長野自動車道豊科インターチェンジから車で5分

今年、開館30周年を迎えた安曇野市豊科郷土博物館の建物は、地面に届くほどの大きな瓦屋根が特徴です。

言うまでもなく、瓦は、屋根に葺かれ建物を雨から護っています。安曇野では、明科廃寺（明科）の建物に葺かれたり上ノ山窯群（豊科）で生産されるなど、既に古代から瓦の文化を認めることができます。また、近代には川手地域を中心に瓦産業が栄えました。

住宅事情の変化により、最近では瓦屋根を葺くことも減ってきていますが、それでも瓦は私たちにとって身近な存在です。一方で、そのためにあまり注意されてこなかったとも言えるのではないのでしょうか。

実用的な瓦ですが、よく見るとさまざまな種類があり形があります。さらに、さまざまな願いが込められていることもわかります。いぶし銀に輝く瓦はまさに渋くて味わいのある造形なのです。

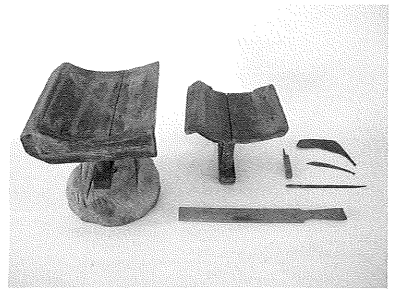
瓦について、いつもと違った角度から眺めてみませんか。きっと、新たな発見があるはずです。



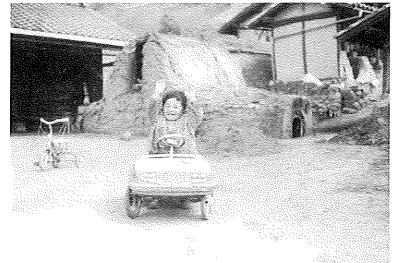
明科廃寺出土の瓦(安曇野市教育委員会蔵)



上ノ山窯群出土の瓦当范(当館蔵)



瓦の製造道具(個人蔵)



明科東川手のだるま窯(個人蔵)



鬼瓦(当館蔵)



竹に虎の軒瓦(当館蔵)

展示説明会

日時 10月25日(日)
午後1時30分～
内容 担当者が展示を
わかりやすく
解説します

博物館講座

古文書の楽しみ方

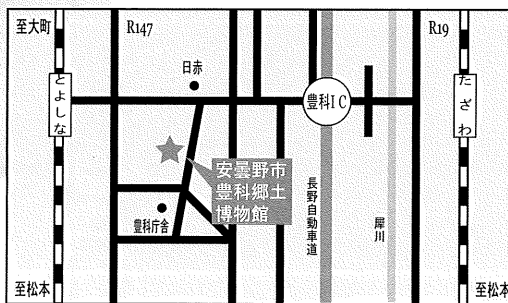
日時 10月24日(土) 午後1時30分～3時
対象 古文書初心者
講師 山崎会理さん
(長野県立歴史館 古文書班長 学芸員)
受講料 200円
定員 30名(先着順)
申込 10月23日(金)までに博物館へ
電話にて申込

押絵の干支をつくってみよう～寅年編～

日時 11月28日(土) 午後1時～4時
内容 来年の干支(寅)の押絵の製作
講師 三村 隆彦さん(ペラミ人形店・松本)
受講料 1,000円(材料費込)
定員 20名(先着順)
申込 11月7日(土)～27日(金)までに
博物館へ電話にて申込

※持物などございます。詳細は博物館までお問合せください。

- 開館時間 9時～17時
(入館は16時30分まで)
- 入館料 大人300(240)円
小中生150(120)円
()内は20名以上の団体料金
- 休館日 月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日



■主催 安曇野市豊科郷土博物館 ■後援 長野県中信瓦事業組合

安曇野市豊科郷土博物館 <http://toyohaku.jugem.jp/>

長野県安曇野市豊科4289-8 〒399-8205 tel/fax 0263-72-5672

●JR大系線豊科駅から徒歩15分 ●JR篠ノ井線田沢駅から車で10分 ●長野自動車道豊科インターチェンジから車で5分